

2021年7月12日
株式会社インプレスR&D
<https://nextpublishing.jp/>

テレパシーではじまる無口系『妖精』美少女とのドタバタラブコメ開幕！

『妖精美少女が脳内で助けを求めてくるんだが？』

いずみノベルズ・7月の新刊

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、いずみノベルズの新刊『妖精美少女が脳内で助けを求めてくるんだが？』(著者:新嶋 紀陽、イラスト:七灯 ツバキ)を発行いたします。

いずみノベルズは、「小説家になろう」などの Web 小説投稿サイトに掲載された小説作品から厳選した作品を商業書籍として刊行し、より広い読者に新しい才能・作品に触れる機会を提供することを目指します。
(「小説家になろう」は株式会社ヒナプロジェクトの登録商標です。)

『妖精美少女が脳内で助けを求めてくるんだが？』

<https://izuminovels.jp/isbn-9784844379683>

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784844379683>



著者:新嶋 紀陽
イラスト:七灯 ツバキ
小売希望価格:電子書籍版 1,080 円(税別)／印刷書籍版 2,000 円(税別)
電子書籍版フォーマット:EPUB3／Kindle Format8
印刷書籍版仕様:四六版／カラー／本文 204 ページ
ISBN: 978-4-8443-7968-3
発行:インプレス R&D
企画編集:合同会社技術の泉出版
発売日:2021 年 7 月 16 日

<<あらすじ>>

他校の女子生徒の顔面を殴り、その報復で病院送りにされた……などという嘘っぱちの噂のせいで、山上篤史はクラスで孤立していた。

そんな彼には、ちょっとした特殊能力がある。それは、超能力者の匂いを嗅ぎ分けることができる、というもの。その能力によって、彼はひょんなことから、『妖精』と呼ばれている学校で一、二を争う美少女・白澤友里がテレパシー能力者であることを知る。

友里がテレパシーが使えることを知っているのは、篤史のみ。秘密の共有——そんな状況ゆえ、何故か友里は篤史にしばしばテレパシーを送るようになってきた——。

『篤史さーんっ、この問題の答え教えてくださいーい』

『…カンニングをするな！』

『篤史さーんっ、暇なので対戦ゲームしましょう！！』

『…勉強中だろろうが！』

『篤史さーんっ、今日の晩御飯はステーキがいいで一す』

『…何故うちで食べる前提なんだ…』

『あ、篤史さーんっ！！ 陽キャどもが遊びに行こうとか誘ってくるので、至急救援を要請しまーすっ！！』

『…何でそこまで必死に嫌がるんだよ！』

クラスでは無口かつミステリアスな印象で通っている友里だが、その正体は、生粋の人見知り。彼女は根っからの陰キャであり、周りの者たちから何かと誘われたりするのが大の苦手という『残念妖精』であった。そんな彼女に助けを求められては、断れずに何だかんだで手を貸してしまう篤史。これは、そんな二人が送る、青春テレパシーラブコメ……のようなものである。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

<<著者から一言>>

こんにちは、もしくは初めまして。新嶋です。

この度、「妖精美少女が脳内で助けを求めてくるんだが？」が発売されることになりました。

人生で二度目の書籍発売。まさに感謝感激です。これも全て、読者の皆様のおかげです。

今回は現代を舞台としたちょっと変わったラブコメを書かせてもらいました。読者や周りの人からは「え？ どこがラブコメ？ ただのコメディじゃね？」などと言われますが、これはれっきとしたラブコメです。少なくとも、作者の中ではそうなってます！

内容は Web 版に加筆した形となっていますので、既に知っている方も楽しんでもらえる形になっています。イラストに関しては、七灯ツバキさんに担当していただくことになりました。

とても素敵なイラストなので、是非皆さまにも早く見てほしいです。

今後とも、何卒よろしくお祈いします！

<<著者紹介>>

新嶋 紀陽

人生のほとんどを香川県で過ごしている眼鏡をかけた小説家。今作で二度目、さらには人生初のラブコメを書籍化。深夜に納豆ご飯などを食べながら、執筆作業に勤しんでいる。結果、虫歯になったり、腰を痛めたり、元々ふとましい体型がさらに太くなった。

<<イラストレーター紹介>>

七灯 ツバキ

日本マンガ芸術学院メディアアート学科卒。ライトノベルのイラストやキャラクターデザインを中心に活動し、鮮やかな色彩で日常的なものやファンタジーなどの作品を手掛けるイラストレーター。ナチュラルなものに関心があり、日々制作に取り入れている。

<<目次>>

一章 妖精、助けを求めろ

直接脳内に……！

昼寝中は静かにして

他人との会話は難しい

クラスに美少女が二人の確率は？

不良は赤点をとるといふ風潮

研究者が変人なのはよくあること

『いとこ』の漢字っていっぱいあるよね

二章 妖精、部活動をする

研究報告書(仮)

ラノベは一日十冊読むべし(無理です)

時間は確認しましょう。いやマジで

三章 妖精、我慢の限界を迎える

超能力も適度が一番

呼び出しくらったら不安になるよね

迷子の迷子の幼女

そろそろ我慢の限界のようです

四章 妖精、そろそろ本気を出す

噂には噂をぶつけるんだよ

解決への糸口は唐突にくるもの

地味な嫌がらせほど、ストレスになる

委員長、お前一体何者なんですか？

それでも、白澤友里は残念である

書籍化特典SS

勝負で勝つために時には拘りを捨てることも必要である

<<掲載イラストより>>



<<いずみノベルズについて>>



『いずみノベルズ』は、NextPublishing を利用したスピーディーな刊行と電子・印刷書籍の同時制作、プリントオンデマンドによる返品・絶版・断裁のないサステイナブルな出版モデルを特徴とする、Web 小説の商業化ライト文芸レーベルです。

公式サイト: <https://izuminovels.jp/>

<<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinopyy、
Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※各ストアでの販売は準備が整いしたい開始されます。

【インプレス R&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井芹昌信)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証1部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: np-info@impress.co.jp